

教育経済建設常任委員会行政視察報告書

鬼久保 綾子

○愛知県岡崎市

大河ドラマを契機とした観光振興について

【所見】

岡崎市では、徳川家康の生誕の地として、現在放映されている大河ドラマ「どうする家康」を観光振興へ結びつける取組がなされており、どのように実現し、どのような課題を持っているかなど詳しい話を聞くことができた。

本市においても平成3年に大河ドラマ「太平記」が放映され、その当時は大変大きな反響があったが、その観光化への継続性には課題があり、今後、足利氏に関する観光資源をどのように生かし、誘客に結びつけるかを今一度精査し、模索する必要があると考える。

岡崎市の担当者は、大河ドラマでの観光客数を、ドラマ放映中の現在がピークと捉えており、今後、減少するだろうと見込んでおり、大河ドラマだけに頼る観光誘客ではなく、この機会に他の資源も最大限PRすることで継続的な観光誘客へ結びつけようとする計画を持っていた。

観光振興に関し参考となったこととしては、まず、PRの戦略をしっかりとデータ分析を行い、実践していたことが挙げられる。SNSやWEBへのアクセスユーザーに関してセグメント分けを行い、効果的なセグメントに対してより宣伝を強化するアプローチを行っていた。それにより、費用対効果として効率的な波及を行いながら、そのデータを紙媒体、駅舎や電車等の他の宣伝方法でも取り入れ、アクセスポイントを最大限広げることで、短期間に一気に認知度を上げることにつなげていた。

面白い取組として、人気ユーチューバーと徳川家康のコラボを行い、普段大河ドラマを見ない層に対してもアプローチを行っていたことも参考となった。

この機会にあらゆるメディアを駆使して、岡崎市の認知を上げることを試みていることが伺えた。

また、岡崎市では、既存施設の大改修を行い、「大河ドラマ館」を開館したが、展示物も大変参考になるものが多かった。その一つに、映像を駆使した展示内容がある。甲冑など戦国時代のゆかりの物品の展示物はこの施設にも多く存在するが、水彩画風のアニメーションを使いながら、小さな関ヶ原の現場を模型と連動しながら解説していた。大変分かりやすく、臨場感もあることで

子供も大人も飽きずに楽しめるコンテンツになっていた。

今回の視察を通して足利で応用できるものはたくさんあると感じた。PRの部分で情報デザインとグラフィックデザインの両面からのアップデートを試みる必要があるだろう。

○愛知県瀬戸市

小中一貫校について

【所見】

令和2年に新設された小中一貫校「にじの丘学園」の詳細な話を伺った。

小学校5校、中学校2校を統合した学校になっており、初年度835人であったところ、現在1,100人となり市街地への転入が続いている状況であった。

統廃合により学区が広がったため、バスで通学する児童がいる。バスは、当初スクールバスを考えていたが、予算や継続性を検討した結果、市営バスでの通学となっていた。バスを利用する場合、年間6,000円を保護者から協力金として集めている。統廃合において保護者が懸念する一つが通学である。統廃合では学区が広がることで、徒歩で通学できない生徒が必ず出てくるため、足利市においても通学の手段は課題の一つになるだろうと予想する。

「にじの丘学園」の開校で、特に驚くのが、平成28年の説明会スタートから令和2年の開校まで短期間で全て実施した点である。7校の児童生徒、保護者、地域住民の話合いは、一番時間がかかるものと察する。その場でのワークショップでの議事録などがあれば拝見したいと感じた。

そして、子供がいる保護者からの心配で、とても多いのが、人数が増えることで生じる問題である。少人数の時は、児童生徒と先生の距離が近く、サポートが手厚いが、一気に集団になることでの児童生徒が馴染めなくなることがある。このような問題への対処方法が興味深かった。

瀬戸市は全国平均で見ても、不登校の児童生徒が多い数値となっている。新たに新設した学校には、クラスに行けない子が行くことのできる教室を10室設けており、10室満杯の状況ということであった。大規模となることによって生じる問題は、時に小規模になるだけで解決する場合もあることから、小中一貫校開校と同時に小規模特認校を1校でも残し、児童生徒への選択を広げることは重要だと感じた。

そして、カリキュラムの中に社会性や人間関係を学ぶ授業としてソーシャルスキルトレーニングを設けている点も興味深かった。現代社会において、核家

族化や地域との関わりが希薄化する中で、他人と関わる機会が昔に比べ著しく少ない現代に必要な授業なのかもしれない。

課題としてもう一つ懸念されるのが、廃校になる地域における地域コミュニティの持続だ。実際に、市街地で新設した「にじの丘学園」では年々児童生徒数が増えている状況で、他に大規模校がある学校から転入もあり、その2校間での転入出はバランスの取れたものになっているとの話だが、他の11校の小学校（令和8年に合併する3校を除く。）での児童数変動に関してはより深く知りたい点であった。